

## 水稻品種「にじのきらめき」における多収・低コスト栽培法の検証

### 要約

普通植「にじのきらめき」栽培において多収・高品質を両立させるためには、過剰な分げつの発生を抑えつつ、生育後半までの窒素栄養状態を適正に維持する肥培管理が理想的である。今回供試した高窒素基肥一発肥料は多収・高品質及び低コスト化を可能とする栽培法である。

### ○ 展示のねらい

水稻品種「にじのきらめき」は多収・良食味であり、管内集荷団体の需要が高く、栽培面積が拡大傾向にある。一方で、農業資材等価格高騰の影響から低コスト栽培が求められている。そこで、「にじのきらめき」の多収性とBBファイト055(高窒素基肥一発肥料)の組み合わせによる多収・低コスト栽培法の検証を行う。

表1 展示内容

肥料名	三要素の成分(%)	窒素施肥量(kg/10a)		総窒素施肥量(kg/10a)	施用量(kg/10a)
		速効性	緩効性		
供試区 BBファイト055	30(15(90(5)+110(5)+L80(5))-5-5 <sup>注)</sup>	4.2	4.2	8.4	28
対照区 オール14	14-14-14	8.4	0	8.4	60

注) ( )内は被覆窒素の成分で内数。移植日：2023年6月15日。施肥法：側条施肥。前作：麦(ビール大麦)。

### ○ 主な成果

表2 収量調査結果

	稈長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	一穂粒数 (百粒/m <sup>2</sup> )	総粒数 (百粒/m <sup>2</sup> )	精玄米重 (kg/10a)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	倒伏程度	タンパク質含有率 (%)	紋枯病発病程度
供試区	78	367	88.3	324	565	80.3	22.5	1.0	7.3	1.0
対照区	83	479	79.8	382	543	64.1	21.2	2.8	8.0	2.0

注) 千粒重と精玄米重は、1.80mm篩選による。水分15.0%換算。倒伏程度は、0：無～5：甚の6段階。発病程度は、0：無～4：甚の5段階。

表3 コスト試算結果

	精玄米重 (kg/10a)	検査等級 (等)	粗収益 (円/10a)	肥料代金 (円/10a)	農業所得 (円/10a)	対照区との所得差 (円/10a)	肥料1kg当たりの精玄米重 (kg/10a)
供試区	565	1	113,012	7,073	105,939	13,414	20.2
対照区	543	2	103,200	10,674	92,526	-	9.1

高窒素基肥一発肥料の使用により、病害発生や倒伏を回避しつつ多収・高品質を両立させることができ、コストを削減することができた。「にじのきらめき」は肥料反応性が高いことから、基肥のみの多肥栽培では過剰分げつの発生を招いてしまい、生育後半での窒素不足や紋枯病の発生、白未熟粒の発生によって収量と品質が低下する可能性があることが分かった。

### ○ 今後の方向性

栽培講習会等を活用して本成果を情報提供するとともに JA 営農情報等に掲載して広く周知する。「にじのきらめき」は紋枯病に「やや弱い」ため(小川ら 2022)、普通植が中心で稲作期間の気温が高い安足管内では紋枯病の発生リスクが高い。そのため、本成果と併せて紋枯病の防除を推進する必要がある。

〔引用文献〕小川三菜美・廣岡政義・大久保英奈・高橋慶太・森 洋輔・新井友輔 2022. 群馬県における水稻新品種「にじのきらめき(仮称)」の特性. 群馬農技セ研報 19: 55-57.

実施機関：安足農業振興事務所経営普及部 実施場所：足利市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315